

contents

- 〈展覧会紹介〉 テーマ展「江戸時代の女たち～美人図コトハジメ～」 [2～3]
- 〈イベント報告〉特別企画展「北原照久“お宝”大コレクション展」 [4～5]
- 〈イベント報告〉特別企画展「パリに行きたい！  
～Bonjour！モネ、ミュシャ、シニャック、コトリロ、フジタ！～」 [6～7]
- 〈イベント報告〉コレクション展「絵のなかのパラダイス／西洋版画展」 [7]
- 次回展覧会のお知らせ [8]
- 休館日のお知らせ

表紙：髯嘔《Nashville Skyline》(部分) 1971年 当館蔵 「小コレクター運動と福井」展より





# 江戸時代の 女たち

美人図コトハジメ

- ①菱川師宣「二美人と若衆読書の図」個人蔵
- ②宮川長春「雪中遊女道中図」個人蔵
- ③歌川直弘「正月万歳図」個人蔵

令和6年  
1/3(水) ~ 2/18(日)

[開館時間] 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)  
 [休館日] 月曜日、1月9日(火)、2月13日(火)  
 ※ただし1月8日(月・祝)と2月12日(月・祝)は開館  
 [主催・会場] 福井県立美術館  
 [後援] 福井新聞社、月刊URALA  
 [料金] 一般 100円(20名以上の団体は2割引、ほかの割引との併用不可)  
 高校生以下、シニア(70歳以上)無料(ご来館時に身分証をご提示ください)  
 ※障がい者手帳等をお持ちの方とその介助者1名は無料  
 ※スマホ決済アプリPayPay(ペイペイ)対応  
 ※1月21日(日)、2月18日(日)の「家庭の日」、2月7日(水)の「ふるさとの日」は無料

[関連イベント]  
 ◎学芸員によるギャラリートーク  
 [日時] 1月6日(土)、1月20日(土)、2月10日(土) 各日午後2時～  
 [会場] 美術館2階展示室  
 ※要観覧券 申込不要 先着40名  
 ◎講演会「華麗なる浮世絵」  
 [日時] 2月3日(土) 午後2時～3時30分  
 [講師] 前田詩織氏(福井市美術館学芸員)  
 [会場] 美術館講堂  
 ※要観覧券 申込不要 先着40名  
 最新の開館状況、関連イベント等についてはHPをご覧ください。

肉筆浮世絵とは、大量に摺ることが可能な木版画と異なり、絵師が直接描いた一点ものの作品です。直筆だからこそ、筆遣いや着物の柄など、細部にまで及ぶ絵師のこだわりを見ることができます。浮世絵のジャンルは風景、役者絵とさまざまですが、肉筆浮世絵の世界では美人図が多く描かれました。本展では特に初期浮世絵に着目し、風俗画から美人図の成立に始まり、浮世絵の創始者で優美な女性を描いた菱川師宣。肥瘦の強い線で強かな女性を描いた懐月堂安度と、門人の懐月堂度種。気品ある女性を描いた西川祐信や月岡雪鼎といった上方の絵師もあわせてご紹介します。新年にふさわしい、江戸時代の粋で華やかな世界をご堪能ください。



月岡雪鼎「男舞図」

男舞とは、烏帽子や太刀など男の衣装を身に着けた姿で舞うことを指します。濃い着物が印象的なもの上半身は白を基調としており、気品ある美人画を得意とした雪鼎らしく匂いやかです。



懐月堂安度「七福神図」

桜の木の下で七福神と遊女が宴をし、その様子を若衆たちが覗いています。遊女の奏でる琵琶の音に耳を傾ける弁財天、布袋の袋に頬杖をつく毘沙門天、福の神様たちのくつろぐ様子が表されています。



懐月堂安度「美人立姿図」

肥瘦があり勢いのある描線、くの字の立姿は懐月堂派の特徴です。本作はその祖である安度によるもの。張りのある面貌も相まって、強かさや健康的な美しさを感じられます。



宮川長春「雪中遊女道中図」

宮川長春は肉筆浮世絵を専門とし、ふっくらと上品な女性を得意としました。積もるほどの雪の中、素足に雪駄、男衆に傘を差しかけて歩く姿は凛としています。

寛文年間(1611~1673)に多く描かれた寛文美人図の一つです。無背景に立ち姿が多い中、金地の屏風を背景に脇息でくつろぐ姿はあまり例を見ません。流水と桜の小袖に、菱模様を地に大輪の菊が咲く打掛が、重厚な室内と対照的です。



不詳「脇息に憩う美人図」



菱川師宣「二美人と若衆読書の図」

遊郭の風俗描写を得意とした菱川師宣。一つの書を共に読む遊女と若衆、姿勢を崩し読む妹女郎、そのくつろいだ感じから親密さが伺えます。妨げにならないよう袖を抑える遊女のしぐさ、薄い夏の着物から透ける肌が繊細に描かれています。



歌川直弘「正月万歳図」

万歳とは新年に家々を巡り、繁栄と長寿を祈る芸能です。二人一組で行い、扇を持つ太夫は歌と舞を、鼓を持つ才蔵は伴奏を担当します。滑稽な要素もあり、現在の漫才の祖とも言われています。



西川祐信「男女遊興図」

西川祐信は京都の絵師で版本挿絵を中心に活躍しました。温雅で繊細な画風は、絵本がもたらされた江戸で人気を博しました。その先の展開を想像させる男女のやり取りは、交合場面を描かずとも艶やかです。

# 北原照久 OTAKARA BIG COLLECTION “お宝”大コレクション展



2023  
7.14(金) ▶ 8.31(木)

【主催】北原照久“お宝”大コレクション展実行委員会  
(福井県立美術館、福井テレビ)



福井県立美術館では、福井テレビと実行委員会を組織し、7月14日(金)から8月31日(木)までの会期中、特別企画展「北原照久“お宝”大コレクション展」を開催しました。

人気鑑定バラエティ番組のレギュラー鑑定士として広く知られるコレクター・北原照久。彼の審美眼で選ばれた貴重で懐かしいブリキのおもちゃ、ミニチュアジオラマ、モーションディスプレイから現代アートまでを一室に披露しました。

藤子不二雄、赤塚不二夫ら著名漫画家達が集ったときわ荘の寄せ描きカーテン、横尾忠則が描いた状況劇場のポスター、ビートルズや松田聖子など人気アーティストのレコードジャケット、'50~'60年代の若者を魅了したジュークボックスやアメ車サンダーバード(実車)、映画「スターウォーズ」で実際に使用されたマスク等、多岐にわたるジャンルの北原コレクションを過去最大規模で紹介! その魅力に迫りました。

また本展では、「ロビー・ザ・ロボット」と一緒に撮影できる「フォトコーナー」等特別コーナーを設置するとともに、展示作品に関連した曲を会場全体に流す等、北原照久を五感で感じることのできる様々な仕掛けをつくりました。このような北原照久の世界を体感するため、県内外から連日、大勢の美術ファンが来館し、最終的な入館者数は、20,068人に達しました。

会期中は、土曜日を中心に、学芸員による「見どころ解説会」「ギャラリートーク」が実施され、解説を熱心に聞く方が多いため、質問コーナーを設け、複数回開催する日をつくりました。また、北原



撮影コーナー

のコレクション活動の軌跡を辿る「講演会『コレクションの楽しみ』」、北原の解説による「特別内覧会(ギャラリートーク)」「特別ギャラリートーク」、「学芸員トークサロン『北原照久氏のコレクション』」、「Special Night Museum(担当学芸員による特別解説、ミニコンサート)」、「『ブリキのおもちゃ博物館館長・北原照久〜「関心・感動・感嘆!」の三カン王〜」上映会」、「先着10名様に本展ポスタープレゼント!」等、多くの関連イベントが開催されました。

広報では、駅、大型書店、店舗等でのチラシの配架等を実施しました。また、テレビでは、本展のニュース、スポットCM等が数多く放映されるとともに、新聞では、寄稿、記事、広告等、雑誌では、記事等が掲載されました。

これらの対応を実施したことから、入館者へのアンケートでは、多数の方が「大いに満足・満足」を選択され、複数回来館された方もありました。

当館としては、この展覧会に御来場、御協力いただいた皆様に対して、この場をお借りしまして、厚くお礼申し上げます。

## 《関連イベント》

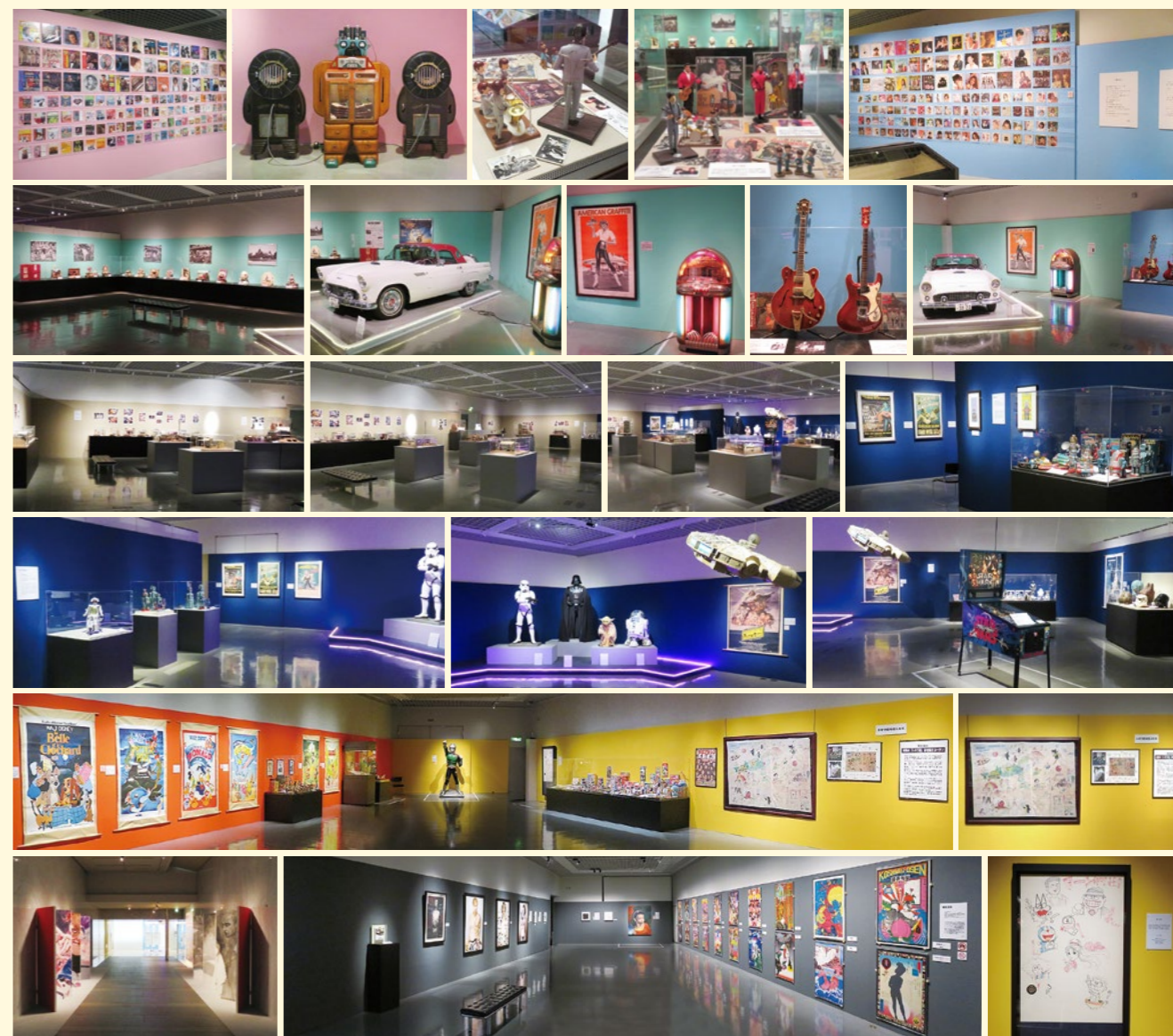
### ●特別内覧会(ギャラリートーク)

【日 時】7月13日(木)  
14:30頃~15:40頃  
【場 所】福井県立美術館  
エントランスロビー・展示室  
【講 師】北原照久氏  
【参加人数】67人



### ●特別ギャラリートーク ※各回約35~40分間実施

【日 時】8月6日(日)  
12:30頃~、16:00頃~  
【場 所】福井県立美術館展示室  
【講 師】北原照久氏  
【参加人数】100人



### ●見どころ解説会 ※各回約30~55分間実施

【日 時】7月14日(金)11:00頃~、15日(土)10:30~、18日(火)9:30頃~、  
22日(土)10:30~、29日(土)10:30~、12:30頃~、  
8月8日(火)9:20頃~、9:55頃~、  
12日(土)10:30~、19日(土)10:30~、  
22日(火)9:55頃~、23日(水)10:10頃~、  
26日(土)10:30~  
【場 所】福井県立美術館講堂  
【講 師】西村直樹(福井県立美術館副館長(学芸))  
【参加人数】470人



### ●ギャラリートーク ※各回約40~60分間実施

【日 時】7月14日(金)11:45頃~、18日(火)9:55頃~  
【場 所】福井県立美術館展示室  
【講 師】西村直樹(福井県立美術館副館長(学芸))  
【参加人数】38人

### ●講演会「コレクションの楽しみ」

【日 時】8月6日(日)  
14:00~15:40頃  
【場 所】福井県立美術館展示室  
【講 師】北原照久氏  
【参加人数】110人



### ●学芸員トークサロン「北原照久氏のコレクション」

【日 時】7月23日(日)17:55頃~19:10頃  
【場 所】福井県立美術館喫茶室ニホ  
【講 師】西村直樹(福井県立美術館副館長(学芸))  
【参加人数】6人



### ●Special Night Museum (担当学芸員による特別解説、ミニコンサート)

【日 時】7月30日(日)18:00~20:00頃  
【場 所】福井県立美術館エントランスロビー・展示室  
【講 師】西村直樹(福井県立美術館副館長(学芸))、  
マリンバ・パーカッション・デュオPulse Du(平岡愛子氏、山崎智里氏)  
【参加人数】30人



### ●「ブリキのおもちゃ博物館館長・北原照久 〜「関心・感動・感嘆!」の三カン王〜」上映会

【日 時】7月14日(金)~8月31日(日)9:00~17:00  
【場 所】福井県立美術館講堂 [参加人数] 8,573人

### ●先着10名様に本展ポスタープレゼント!

【日 時】8月1日(火)~8月31日(日)9:00~  
【場 所】福井県立美術館エントランスロビー [プレゼント人数] 310人

《イベント報告》

# パリに行きたい! Bonjour! モネ、ミュシャ、シニャック、ユトリロ、フジタ!

2023 **9.15** 金  
10.15 日

※会期中無休  
【主催】福井県立美術館  
【後援】福井新聞社、NHK福井放送局、  
FBC、福井テレビ、FM福井、  
福井ケーブルテレビ、さいかいケーブルテレビ、  
月刊URALA

本展覧会は、パリがもっとも刺激に満ち溢れた19～20世紀初頭にスポットを当て、当時の社会的背景を軸に118点の多様な作品を紹介しました。展覧会は5章立てでそれぞれ以下のように構成しました。

## 序章 パリ物語 —理想の都市づくり

ウジェーヌ・オスマンの大規模な都市改造によって、近代都市へと変貌したパリ。シニャック、マルケの風景画、ドーミエの風刺画や中世パリを復元した地図を紹介。

## 第1章 エキサイティング、エキスポ —夢の万国博覧会と新製品の誘い

1889年の万博開催に向けて建設されたエッフェル塔。リヴィエールやルソーなどが制作したパリを象徴するエッフェル塔が描かれた版画、絵画を紹介。さらに、ミュシャをはじめとした新製品を告知するポスターなどを展示。

## 第2章 産業の発達 —娯楽を求めて

産業革命の象徴的な存在ともいえる鉄道。鉄道に関連するドーミエの風刺画や、ミュシャのポスターなどを紹介。さらに、印象派を代表するモネの《睡蓮》を展示。

## 第3章 ベルエポック、パリに生きる人々 —それぞれのウーマンパワー

モンマルトルを中心とした大都市パリのキャバレーやカフェ・コンセルなどで働く女性の姿を紹介。ロートレックをはじめとする版画やポスターなどを展示。

## 第4章 パリに行きたい! 集え、自由の丘に

モンマルトルやモンパルナスを拠点に活動した「エコール・ド・パリ(パリ派)」を紹介。ユトリロやローランサンなどを展示。また、福井県と軽井沢町は連携協定を結んでいることから、軽井沢安東美術館のご協力により藤田嗣治《自画像》を展示。

会期中は県内外から多くの方にご来場いただき、また週末や祝日に開催された各種イベントも盛況のうちに終わりました。



## 《関連イベント》

### ●ホリラボ出張ワークショップin美術館 「私だけのエッフェル塔をつくろう!」

【日 時】9月23日(土・祝)、10月9日(月・祝)  
各日10:30～12:00、13:00～15:30  
【協 力】株式会社ホリタ  
【参加人数】計40人



### ●見どころ解説会

【日 時】9月24日(日)、  
10月7日(土)  
各日14:00～  
【参加人数】計80人



### ●ViViさんと一緒に!フランスを感じるお茶会

【日 時】9月23日(土・祝)14:00～15:30  
【参加人数】16人

### ●記念講演会 「私もパリに行きたい!～パリ美術散歩～」

【日 時】10月8日(日) 14:00～15:30  
【講 師】古谷可由氏(ひろしま美術館 学芸部長)  
【参加人数】50人



### ●美術館喫茶室ニホ 学芸員トークサロン

【日 時】10月14日(土) 17:30～18:30  
【講 師】担当学芸員  
【参加人数】12人



《イベント報告》

同時開催 2023.9.15 金 → 10.15 日

コレクション展

# 絵のなかのパラダイス / 西洋版画展

かぐや姫の時代から月に親しみ、そこに情緒やこの上ないものとして賞美してきた日本には魅力的な月夜の絵や作品が多くあります。

一方、太陽の光の変化を追い求め、別名“外光派”とも言われた印象派の画家たちを筆頭に、近代の西洋画家たちにとっての「夜」は死や不気味なイメージを持ち、わざわざ描くほど魅力的な画題ではなかったのでしょうか。すると世界では、国や人によって、好まれる嗜好や理想とするものが全く違うと気づかされます。自然と人間が一体となり調和した世界を好む東洋に対し、自然の支配者という意識のある西洋ではパラダイス(楽園・理想郷)観も違って当然です。

東洋の山水画は単なる風景画ではなく、いつまでも住んでいなくなる心のなかのパラダイスとして描かれ、俗界を離れた清浄な場所でお気に入りの動物たちとともにある絵もこの世の理想の世界です。

西洋では、豊かな食物と水に潤されたエデンの園がまぎれもないパラダイスであったものの、罪によって永遠に失われた場所となりました。楽園を喪失した悲しみとともに、

創造主たる神が作り支配する自然を、克服し支配する道を迎った西洋社会のなかで、素朴さや単純さを求めてタヒチに楽園を見出したゴーギャンは変わり種でしょう。

本展では、古今東西の好ましい場所、理想の場所、空想の場所、パラダイスにちなんだ作品を28点、同時開催の「西洋版画展」では当館所蔵の西洋版画25点をご紹介します。

## 《関連イベント》

### ●学芸員によるギャラリートーク

【日 時】9月18日(月・祝)、30日(土) 14:00～15:00  
【参加人数】45名



## 「小コレクター運動と福井」

[会期] 令和5年 11月25日(土)～12月24日(日)

[休館日] 月曜日

創造美育協会福井支部のメンバーたちが「小コレクター運動」を推進。瑛九や鬘麿、池田満寿夫等の作品収集を軸に運動を繰り広げました。

本展では、小コレクターたちが収集した作品群を通して、“福井の小コレクター運動の軌跡”を紹介します。



鬘嚙《つる(中上エティション)》2002年

## 「江戸時代の女たち ～美人図コトハジメ～」

[会期] 令和6年 1月3日(水)～2月18日(日)

[休館日] 月曜日、1月9日(火)、2月13日(火)

詳しくは本誌P2～3をご参照ください。



菱川師宣《二美人と若衆読書の図》(部分)  
17世紀(江戸時代) 個人蔵

## 「北陸新幹線 福井・敦賀開業記念 福井県立美術館名品展」

[会期] 令和6年 3月16日(土)～4月14日(日)

[休館日] 月曜日

福井県立美術館が46年かけて収集したコレクションから、選りすぐりの名品を紹介します。



野々村仁清《色絵牛図茶壺》  
17世紀(江戸時代)

## 「特集・源氏物語」

[会期] 令和6年 3月16日(土)～4月14日(日)

[休館日] 月曜日

紫式部は娘時代に福井(当時の越前国府・武生)で暮らしたことがあり、源氏物語にも「武生」の地名が登場します。

源氏物語の当館所蔵の関係作品を一挙公開します。



岩佐又兵衛勝以《和漢故事説話図 浮舟》17世紀(江戸時代)

お知らせ

◎2023年12月～2024年3月の休館日について

館内メンテナンス、展示替え等のため下記の日程は休館とさせていただきますのでご了承ください。※ は休館日です。

2023年 12月 December							2024年 1月 January							2月 February							3月 March						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
					1	2	1	2	3	4	5	6					1	2	3					1	2		
3	4	5	6	7	8	9	7	8	9	10	11	12	13	4	5	6	7	8	9	10	3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16	14	15	16	17	18	19	20	11	12	13	14	15	16	17	10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23	21	22	23	24	25	26	27	18	19	20	21	22	23	24	17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30	28	29	30	31	25	26	27	28	29	24	25	26	27	28	29	30					
31																			31								



美術館のHPはこちら